

【事務事業調査】

事務事業名	緊急通報装置貸付事業費			予算科目 コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
					001-030103-003-01-02-0
担当部課	住民生活部 健康福祉課	担 当 サブリーダー	社会福祉担当 吉葉 恵子	事業の分類	既存事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	ひとり暮らしの高齢者及び重度身体障害者のお宅に、緊急事態が発生したときに、ボタンひとつで委託業者に通報が行き、警備員が駆けつける装置を取り付ける。 また、緊急時以外にも、月1回警備員が訪問して安否確認を行う。 従来のシステムに、改正消防法に適應できるように火災報知機を増設する。	ひとり暮らしの高齢者や重度身体障害者が急病や災害等の緊急時に24時間体制で対応することができるため、安心した生活ができる。
実績	通報装置が必要と判断された世帯に貸与を行いました。 社会福祉協議会や民生委員等の協力を得ることで、新規の利用者が増加しています。 ・緊急通報12件(6件救急車出動、1件火災消防車出動、5件その他の対応)	ひとり暮らし高齢者の方などが、急病や災害時に緊急連絡すると、委託事業者が迅速かつ適切な対応を行い、利用者の安心感を向上させることができます。

■活動指標

指 標	目 標 値	達 成 値	特 記 事 項
緊急通報装置貸与台数	120台	136台	

■事業費(計画)

細 節	金 額
1 通信運搬費	10,500
2 委託料	5,153,400
3 扶助費	129,000
4	
5	
6	
7	
8	
	5,292,900



■事業費(当初予算)

細 節	金 額
1 通信運搬費	11,000
2 委託料	4,688,000
3 扶助費	78,000
4	
5	
6	
7	
8	
	4,777,000



■事業費(実績)

細 節	金 額	特 記 事 項
1 通信運搬費	10,815	福祉電話設置料
2 委託料	4,984,665	緊急通報システム業務委託料
3 扶助費	101,050	福祉電話使用料
4		
5		
6		
7		
8		
	5,096,530	

■事業経費

		計 画	実 績	特 記 事 項
予 算	当初予算額		4,777,000	
	補正予算額		403,000	
	流用額		0	
	予算現額		5,180,000	
決 算	決算額		5,096,530	
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0	0	
	差引(一般財源)	5,292,900	5,096,530	